

阪神・淡路大震災20年事業

これからの「災害ボランティアセンター」を考える 全国フォーラム 開催要綱

阪神・淡路大震災では、甚大な被害の一方で、学生・若者などのボランティアが活躍し、『ボランティア元年』と呼ばれ、「NPO法」の施行や「国際ボランティア年」（2001年）につながりました。以降、災害発生時には被災地ごとに「災害ボランティアセンター」が設置され、駆けつけたボランティアによる救援・復旧活動が展開され、東日本大震災でも様々な支援活動が展開されました。

このフォーラムは、今後の大規模災害に備えて、災害発生時に迅速・円滑に救援活動が行えるよう、災害ボランティアセンターのあり方や平時からのネットワークづくりの方向性について共有・発信する場として開催します。

とき 平成26年10月6日（月）13:00～16:30

ところ 神戸国際会議場 メインホール（神戸市中央区港島中町6-9-1）

参加費 無料 定員 500人

社協関係者、ボランティア活動者、NPO・福祉施設・自治体関係者
その他、関心のある方に参加いただけます。



プログラム

基調講演 『ボランティア元年』からの20年を振り返る

講師 山崎 美貴子氏

「広がれボランティアの輪」連絡会議会長
東京ボランティア・市民活動センター所長
神奈川県立保健福祉大学 名誉教授



パネルディスカッション

これからの『災害ボランティア活動支援』について

- 渋谷 篤男氏（全国社会福祉協議会 事務局長）
 - 村松 淳司氏（東北大学 多元物質科学研究所教授）
 - 立木 茂雄氏（同志社大学大学院社会学研究科教授）
- コーディネーター 山崎 美貴子氏

12:00 13:00 13:40 14:50 15:00 16:30

受付	開会	基調講演	休憩	パネル ディスカッション	閉会
----	----	------	----	-----------------	----

主催 災害ボランティア支援フォーラム実行委員会

兵庫県社会福祉協議会、市町社協活動推進協議会、神戸市社会福祉協議会、滋賀県社会福祉協議会、
京都府社会福祉協議会、大阪府社会福祉協議会、奈良県社会福祉協議会、和歌山県社会福祉協議会、
京都市社会福祉協議会、大阪市社会福祉協議会、堺市社会福祉協議会

後援（予定）兵庫県、神戸市、全国社会福祉協議会、中央共同募金会、兵庫県共同募金会、日本赤十字社兵庫県支部、
生活協同組合コープこうべ、兵庫県ボランティア協会、神戸YMCA、NHK神戸放送局、神戸新聞社、
朝日新聞神戸総局、毎日新聞神戸支局、読売新聞神戸総局、産経新聞社、日本経済新聞社神戸支社、
時事通信社神戸総局、共同通信社神戸支局、日刊工業新聞社神戸支局、株式会社兵庫ジャーナル社、
サンテレビジョン、ラジオ関西、Kiss FM KOBE、毎日放送、株式会社神港ジャーナル社

≪送付先FAX番号 078-242-0297 (送信票は不要です)≫

阪神・淡路大震災20年事業
これからの「災害ボランティアセンター」を考える
全国フォーラム 参加申込書

団体名 ※個人参加の場合は、 下欄の氏名と連絡先 をお書き下さい。	(担当者のお名前)		
出席者役職・氏名	No.	役職	氏 名
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
10			
連絡先	〒 (電話 ファックス)		

※参加決定通知は省略させていただきます。

〔参加申込・問合せ〕

災害ボランティア支援フォーラム実行委員会 事務局

兵庫県社会福祉協議会 地域福祉部 (担当: 杉田・長谷川)

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター内

TEL: 078-242-4634 (直) FAX: 078-242-0297 (直)

E-MAIL: chiiki@hyogo-wel.or.jp